

東日本大震災津波及び平成28年台風10号被災地への薪支援について

1 はじめに

盛岡広域振興局林務部では、平成23年から職員による被災地支援の一環として、葛巻町のイベントで準備した薪を沿岸被災地に届ける活動を続けています。

この薪を届ける活動は、被災地支援の側面のほか、木質バイオマス利用の普及振興という観点から取り組んでおります。

2 薪の確保

10月6日に葛巻町で行われたトリプル薪フェスタのイベントに振興局職員及びその家族がボランティア参加し、葛巻町江刈にある小岩金網(株)の「企業の森」において、ナラ類、サクラ等の広葉樹の薪づくりを行いました。



「葛巻町の企業の森で薪づくり」

3 薪運び

薪運びは、11月20日に葛巻町役場の御協力をいただき、クレーン付きトラックにより、薪運搬トラックに薪の詰まったフレコンバッグ6袋合計約1.5トンを積み込み岩泉に向けて出発しました。

4 薪の運搬先・用途

積み込んだ薪は、薪支援要望のあった岩泉町小本津波防災センターに届けました。

小本津波防災センターは三陸鉄道の岩泉小本駅庁舎と一体となっている建物に所在しており、センターでは、届けた薪を1階待合室の薪ストーブに使用するという事です。

待合室での暖房に薪が活用されることで、待合室利用者の木質バイオマスへの理解が深まることを期待しています。



「岩泉町小本津波防災センターに薪を贈呈」

5 おわりに

薪を贈呈した翌日には、岩泉町長から感謝の電話もいただきました。

この取組は、ボランティア活動を通じて、「被災地への支援」と「木質バイオマスの有効活用、利用促進」を実現したのですが、今後も各種要望に対応し、里山の資源を活かす取組と普及を進めていきたいと思っています。